

事業計画書

事業名	熱気球による「まちづくり・人づくり」事業
実施箇所	佐久市内及び県外
実施期間	事業開始予定年月日 平成28年4月1日
	事業終了予定年月日 平成29年3月31日
事業概要	<p><事業の目的> ゴールデンウィーク中に開催している佐久バルーンフェスティバルは、「子ども達に体験を」をコンセプトに県内外から30万人を超える観客を集め、佐久の風物詩となっています。佐久地域は長野県の東の玄関口として北陸新幹線、高速交通網の優位性を活かし、関東方面からの誘客をさらに増やすとともに県下各地で熱気球を利用した体験搭乗や今回作成する子供向けの熱気球教室の資料を使った熱気球教室などを行い、交流人口の増加による観光産業の振興と人々に感動体験を与えます。 また、事業を達成するために熟練したスタッフの養成（新気球による訓練を積み）を図り、豊かな発想と実行力を持つ人々を掘り起こします。</p>
	<p><事業の内容> 長野県で唯一熱気球グランプリ大会を開催していることから熱気球のまちとして熱気球を通じて老若男女が協力しあい活動をしています。今までのイベントへの参加と今後さらに広域的なイベントにも参加するため、若者パイロットの養成・熱気球教室を開催する中で子ども達への夢と希望を提供していきます。地域の特徴である熱気球を活用し、佐久広域や県下各地でのイベントにも参加し、大勢の人達に「夢・感動体験」を届けることによる心の活性化、交流人口の増加と地域活性化への取り組みます。</p>
	<p>1. 新気球を製作し熱気球操縦士の養成 2. 佐久バルーンフェスティバル、他の競技大会各種イベントへの参加 3. 子供を対象にした熱気球教室（熱気球教室用資料冊子使用）の開催</p>
	<p><事業の効果・アピールポイント> 佐久バルーンフェスティバルへの観光客の入込数の増加 （H27年は日程が1日多い為） : H26、29万人 → H28、32万人 広域地域へのイベント参加回数 : H27、15回 → H28、20回 熱気球操縦士 : 2名養成 会員増強 : H27、96件 → H28、110件</p>
	<p><事業における市の役割分担> 佐久熱気球クラブ発足当時より佐久市と手を携えイベントや佐久市をアピールする為に熱気球活動をしてきました。今後ともご指導の下、スカイスポーツの振興・町づくりに貢献したいと思います。</p>